

石岡市の概要

石岡市は、茨城県のほぼ中央に位置し、市域の北西部に連なる筑波山系から南部の市街地にかけてなだらかな丘陵地が広がり、市北部から東南端へと流れる恋瀬川は、日本第2位の面積を持つ霞ヶ浦にそそいでいます。また、首都圏と東北地方を結ぶ常磐自動車道、国道6号、JR常磐線が市を南北に貫き、この交通条件の良さが、市民生活はもちろんのこと企業誘致や農作物の出荷などにおいて有利に働いています。

さらに、市域のすぐ北を北関東自動車道が横断しているほか、茨城県の空の玄関口である茨城空港も、市内から約10キロメートルの距離にあります。

市章

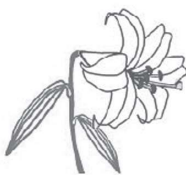


石岡市の人口（令和4年4月1日現在）

男	35,959人
女	36,322人
合計	72,281人
世帯数	31,478世帯



市の木 しい
(平成17年10月制定)



市の花 ゆり
(平成17年10月制定)



市の鳥 ひばり
(平成17年10月制定)

石岡市消防本部・消防署のあゆみ

平成17年	10月1日	石岡市消防本部及び消防署設置条例が施行され、消防本部3課1室、2消防署1分署2出張所、消防吏員130名(定員135名)事務員3名(定員4名)により発足。
平成18年	12月26日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し、八郷消防署に配備。
平成19年	3月30日	茨城県立消防学校から吏員1名帰任。(平成16年度旧石岡市から派遣)
	10月1日	石岡市石岡の町界町名変更に伴い、本部所在地を「石岡市石岡一丁目2番地18」と改める。
	11月6日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	12月7日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、消防ポンプ自動車1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	12月12日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、救助工作車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
平成20年	2月1日	旧救助工作車を学校教育訓練用として、茨城県立消防学校に無償譲渡。
	4月1日	石岡市消防本部の組織等に関する規則の一部改正、通信指令室を通信指令課と改め消防本部4課となる。
平成21年	5月25日	石岡市危険物安全協会設立50周年式典を開催、石岡市危険物安全協会から連絡車(プロボックス)が寄贈され、消防本部に配備。
平成22年	4月1日	茨城県防災航空隊へ吏員1名派遣。
平成23年	4月2日	東日本大震災における緊急消防援助隊茨城県隊として、救急部隊及び後方支援部隊を福島県へ派遣。
	5月13日	緊急消防援助隊茨城県隊が活動を終え、救急部隊及び後方支援部隊帰任する。(吏員計16名派遣)
	11月9日	東日本大震災において緊急消防援助隊茨城県隊として、災害活動に従事した功績により、総務大臣表彰を授与する。
平成25年	1月18日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	3月29日	茨城県防災航空隊から吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課へ吏員1名派遣。
平成26年	1月6日	高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	2月6日	消防ポンプ自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	3月18日	指揮車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	4月1日	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会へ吏員1名派遣。
	11月3日	高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。
平成27年	1月27日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、化学消防車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。
	3月31日	茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課から吏員1名帰任。
	11月20日	消防ポンプ自動車1台(CAFS搭載)を更新し、八郷消防署へ配備。

平成28年	1月7日	高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	4月1日	石岡市消防本部の組織等に関する規則の一部改正、通信指令課を廃止し、消防本部3課となる。 いばらき消防指令センターへ吏員2名派遣。
平成29年	1月17日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、水槽付消防ポンプ自動車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。 消防ポンプ自動車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	4月1日	宮城県気仙沼市へ吏員1名派遣。 茨城県立消防学校へ吏員1名派遣。
平成30年	2月16日	高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署へ配備。
	3月31日	宮城県気仙沼市から吏員1名帰任。 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	宮城県気仙沼市へ吏員1名派遣。
	8月29日	広報車を1台更新し、連絡車として消防本部へ配備。
平成31年	3月31日	宮城県気仙沼市から吏員1名帰任。 茨城県立消防学校から吏員1名帰任。 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県防災・危機管理部消防安全課へ吏員1名派遣。 いばらき消防指令センターへ吏員1名派遣。
令和元年	5月1日	元号が令和となる。
	10月25日	石岡市危険物安全協会設立60周年式典を開催、石岡市危険物安全協会から搬送車(ハイゼットトラック)が寄贈され、消防本部へ配備。
	11月15日	石岡市幼少年婦人防火委員会の名称を石岡市幼少年女性防火委員会に変更するとともに、市内の婦人防火クラブの名称も女性防火クラブへ変更。
令和2年	3月31日	いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
令和3年	3月31日	茨城県防災・危機管理部消防安全課から吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県防災航空隊へ吏員1名派遣。
	6月10日	石岡消防署愛郷橋出張所が、石岡市高浜歩行1335番地から新庁舎(鉄骨造平屋建て 述べ面積544.38㎡)の石岡市三村6921番地1に移転し供用を開始する。
	7月24日	石岡消防署愛郷橋出張所新庁舎の開所式を挙げる。 静岡県熱海市土石流災害における緊急消防援助隊茨城県大隊として、消火救助部隊を静岡県へ派遣。
	7月26日	緊急消防援助隊茨城県大隊が活動を終え、消火救助部隊帰任する。 (吏員計4名派遣)
令和4年	2月17日	連絡車(トヨタハイエース)1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	2月21日	静岡県熱海市土石流災害における緊急消防援助隊茨城県大隊として、災害活動に従事した功績により、消防庁長官表彰、茨城県知事感謝状、緊急消防援助隊活動章を授与する。

令和4年 3月16日 高規格救急自動車1台を購入し、石岡消防署へ配備。
3月31日 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
4月1日 いばらき消防指令センターへ吏員1名派遣。

石岡市消防団のあゆみ

平成17年	10月1日	石岡市消防団条例が施行され、石岡市石岡消防団(10分団、団長以下176名)並びに石岡市八郷消防団(8分団32部、団長以下452名)により発足。
平成18年	2月10日	石岡市消防団(旧石岡)が、財団法人日本消防協会から最高榮譽賞「まとい」を授与する。
	3月17日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第7分団及び第10分団へ配備。
	4月1日	石岡市消防団条例を一部改正し、石岡市石岡消防団並びに石岡市八郷消防団を統合。石岡市消防団(1本部18分団32部、団長以下628名)となる。
	10月21日	第57回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第10分団(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月28日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第15分団へ配備。
平成19年	10月20日	第58回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第15分団1部(ポンプ車の部にて優勝)並びに第16分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成20年	3月30日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、第11分団第2部車庫兼詰所が竣工。
	10月18日	第59回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第18分団1部(ポンプ車の部にて優勝)並びに第14分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
	11月15日	自治体消防60周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会が開催され、第18分団1部(ポンプ車の部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成21年	10月18日	第60回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団4部(ポンプ車の部にて準優勝)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成22年	10月24日	第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて入賞)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
平成23年	10月23日	第62回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団1部(ポンプ車の部にて入賞)並びに第11分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月19日	第23回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第11分団4部(小型ポンプの部にて入賞)が代表として出場。
平成24年	10月14日	第63回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団2部(ポンプ車の部にて入賞)が代表として出場。
平成25年	10月14日	第64回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第16分団1部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
	11月3日	自治体消防65周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会兼第24回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第15分団2部(小型ポンプ操法の部にて敢闘賞)が代表として出場。

平成26年	1月28日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第1分団及び第15分団2部へ配備。
	10月19日	第65回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第14分団1部(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第16分団2部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成27年	10月11日	第66回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて優勝)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月2日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第16分団1部へ配備。
	11月21日	第25回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第15分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成28年	10月16日	第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団2部(ポンプ車の部にて準優勝)並びに第11分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
	12月9日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第14分団3部へ配備。
平成29年	10月15日	第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて第3位)並びに第15分団2部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月7日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第2分団及び第18分団1部へ配備。
平成30年	4月1日	石岡市消防団再編により、八郷地区8個分団4部制を廃止、16分団制とし石岡市消防団26分団制で運用を開始する。
	10月5日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第3分団及び第4分団へ配備。
	10月21日	第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第17分団(ポンプ車の部にて第4位)並びに第14分団(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
令和元年	10月20日	第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第9分団(ポンプ車の部にて第4位)並びに第20分団(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月16日	第27回全国消防ポンプ操法競技大会茨城県代表選考会が開催され、第20分団(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
令和2年	2月20日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第11分団及び第23分団へ配備。
令和3年	1月24日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第13分団及び第22分団へ配備。
	4月1日	機能別団員制度を導入し、各分団下で運用を開始する。
令和4年	2月5日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第15分団及び第17分団へ配備。